

常任委員会報告

総務財務委員会

2月定例会付託議案審査

【主な議案の概要と質疑】

議第45号 「三原市普通財産減額処分条例制定について」

【概要】 入札不調の普通財産について、一定の要件を満たす者に価格を減額して譲渡できるようにするため、条例を制定するもの。

【質疑の内容】 本条例の政策的な意図や目的は何か。

【答】 特に買い手の付きにくい財産の売却について市場のニーズにスピード感を持って応えることで普通財産の遊休地化の解消を目指したい。

【問】 譲渡価格を予定価格の10分の1にする規定であるが、対象に合わせて段階的に引き下げる考えはなかったのか。

【答】 検討したが、時間を

要するため売却時期を逸する恐れがある。また、恣意的な運用を防ぎ公正な売却に資すると考えらる。

議第46・47号 「財産の減額貸付について」

【概要】 適正な対価なく財産を貸し付けることについて議会の議決を経ずに契約していたため、事後的に議会の議決を求めるもの。

【質疑の内容】

【問】 事後的に議会が承認することににより本契約の有効性は担保されるか。今後の再発防止はどうか。

【答】 事後であっても議会が議決することで、契約当初に遡って有効になるとの高等裁判所の判例があることから有効と考えらる。今後は法令等に対する理解を深めることで事務の適正化を図っていく。

【採決】

採決の結果、議第42号他6件について、全員一致、原案どおり可決した。

行政説明案件

「三原市デジタルファースト実行計画の策定について」

【概要】 これまでの取り組みの経緯、実行計画案、今後の予定について。

【主な質疑の内容】

【問】 市民サービスのデジタル化について高齢者への対応は。

【答】 デジタルにあまり抵抗のない世代の方にはデジタル化を進め、デジタルに不慣れな方には、より丁寧なアナログサービスを提供するなど充実を図っていく。今後もかなりの期間、デジタルとアナログは併存していく。

【問】 デジタル化社会が進むと人と人とのふれあいの希薄化、個人情報漏洩等弊害もあるが、デジ

タル社会を健全に発展させるためには何が一番必要か。

【答】 個人の情報※リテラシーを育てることが一番重要だと思う。国・社会全体で取り組む必要がある。

※リテラシーとは、適切に理解・解釈し活用する力。

令和4～7年度

三原市デジタルファースト実行計画

めざす姿

・デジタルを使う人も、使わない人も、市民がデジタルによるサービス向上の恩恵を受けている
・デジタル施策に取り組むまちであることが市民・市外の人から認知されている

1 市民サービス	2 行政運営	3 関係人口創出
1 行政手続のデジタル化	1 デジタルツール活用による業務改革	1 プロモーションのデジタルファースト
2 マイカドの普及・利活用	2 場所に捉われない働き方改革	2 デジタル・リアル融合による交流・関係・移住の拡大
3 データの利活用	3 情報システムの全体最適化	3 テレワーク等による関係人口の拡大
4 デジタルバイド対策	4 データの利活用（再掲）	
5 地域社会のデジタル化		

1月臨時会付託議案審査

議第3号 「三原市国民健康保険税条例の一部改正について」

【概要】 令和3年第1回定例会で議決した国民健康保険税の減額に関する条例改正について、条例で定めている金額に改正漏れがあったことから、令和3年4月1日に遡って適用するため、条例の一部を改正するもの。

【主な質疑の内容】

【問】 条例の改正漏れに至った原因は。再発防止に向けてどのような対策を講じるのか。

【答】 改正内容に対する管理職のチェックが不十分であったことが原因。今後は、複数の職員で確認作業を進めていく。

【採決】

採決の結果、議第3号について、全員一致、原案どおり可決した。

厚生文教委員会

2月定例会付託議案審査

【主な議案の概要と質疑】

議第49号 「三原市国民健康保険財政調整基金条例の一部改正について」

【概要】 国民健康保険財政の健全な運営を行うため、財源不足が生じた際、速やかに基金を処分することができるよう条例の一部を改正するもの。

議第50号 「三原市公民館設置及び管理条例の一部を改正する等の条例制定について」

【概要】 平成30年7月豪雨災害で被災し休館していた、本郷公民館・本郷体育センター・本郷福祉センターを3月末をもって廃止するもの。

【質疑の内容】

【問】 3施設の廃止について、利用者の理解は得られているのか。また、代替施設では同様な活動ができていないのか。

【答】 令和3年7月に、利用団体に対し、3施設の閉館について文書送付で説明を行ったが、要望や

問い合わせ等はなく、今も従前と同様に活動されており、理解を得たものと受け止めている。

【採決】

採決の結果、議第49号他3件について、全員一致、原案どおり可決した。

行政説明案件

【消防団屯所移転統合計画について】

【概要】 令和4年度に旧南小学校校舎及び屋内運動場を解体し、5年度に跡地へ三原中央方面隊5分団（東部・中部・西部・南部・西野）及び2格納庫（西宮・頼兼）を統合した屯所を建設する。また、4年度に現在の木原分団屯所及び3格納庫（下木原・赤石・福地）を除却し、統合した屯所を木原四丁目に新たに建設する。

【私らしく暮らせるみはらプラン（第四次三原市男女共同参画プラン）の策定について】

【概要】 三原市男女共同参画推進条例に基づき、

男女共同参画の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための基本計画であり、男女共同参画社会基本法に基づく「市町村男女共同参画計画」として策定する。また、女性活躍推進法に基づく「市町村推進計画」及びDV防止法に基づく「市町村基本計画」も一体のものとして策定する。

【病院再編後の三原赤十字病院について】

【概要】 三原赤十字病院と三菱三原病院の統合により、4月から新たな体制で三原赤十字病院の運営が始まる。また、居宅介護支援事業所も開設される。

【主な質疑の内容】

問 統合後の救急医療及び災害救護体制について問う。

答 三菱病院からの医師の増員により、夜間の救急患者への対応が充実する。また、感染症や災害時にも対応できる。

統合後の診療体制の特徴は？

- 1 消化器系と整形外科系の充実
- 2 歯科口腔外科の継承
- 3 内科・耳鼻咽喉科の診療機能強化
- 4 救急対応能力の強化

■三原赤十字病院と三菱三原病院の統合前と統合後

	統合前		統合後(令和4年4月から)		
	三原赤十字 ①	三菱三原 ②	三原赤十字 ③	統合前2病院との比較 ③-(①+②)	三原赤十字のみの比較 ③-①
病床数	197床	81床	232床	46床減	35床増
急性期	106床	81床	141床	46床減	35床増
回復期	91床	-	91床	0	0
診療科	20科	8科	21科	※1科増	※歯科口腔外科増

経済建設委員会

2月定例会付託議案審査

【主な議案の概要と質疑】

議第54号「三原市道の駅設置及び管理条例の一部改正について」

【概要】 施設利用者の利便性向上を目的に、4月1日から道の駅みはら神明の里に公共施設予約システムを導入するため、使用料の納付方法に関する規定を整備するもの。

【質疑の内容】

問 予約システムの導入で、かえって指定管理者の負担が増えることはないのか。

答 これまでは電話を受けて施設の空き状況を確認し、仮予約の受付を行っていた。システムの導入によって、利用者自ら空き状況の確認と予約ができるため、負担軽減や事務作業の効率化につながる。

問 導入する予約システムは、窓口での初回手続きが必要なことや、登録できる金融機関が一行に限られる。利用者の利便

性向上のため、将来的にシステムの改修は考えていないのか。

答 指摘の点は課題と認識している。改修すべきところは検討していく。

【採決】

採決の結果、議第53号他3件は、全員一致、原案どおり可決した。

行政説明案件

【魅力あるまちなみづくり事業の取組状況について】

【概要】 平成29年に、本町西国街道地区が広島県魅力あるまちなみづくり支援事業モデル地区に選定され、この事業の取組み状況について説明を受けた。

【主な質疑の内容】

問 本町古浜線の延長は、魅力あるまちなみづくり支援事業と関連があるのか。

答 本町古浜線は街路事業で、市道本町45号線が今回の対象事業となり別事業である。

問 本町通りの将来イメージ図を見ると、バラ

バラなまちなみづくり感がするが、統一感を持った時代設定等は考えていないのか。

答 特定の時代に合わせるべきでないとのワークショップ等の意見より、多様な時代の建物が調和できるまちなみをめざしている。

問 通りに面した家屋の外観や家自体を建て直すのに補助金が出るのか。

答 外観の修景整備は、既存建物を改修する際、費用の一部を補助する。現在ある建物の建て替えは今回の対象とならないが、他の補助制度もあるので確認してほしい。

問 本町は小さな道が多いが、災害時の緊急車両等の出入りに対し、道路改良は検討されているのか。

答 今のところ道路改良は考えておらず、今の道路幅員の範囲内で整備を考えている。

